

令和2年2月

長崎県商工会議所連合会  
会長 宮脇 雅俊 様

長崎県知事 中村 法道



COC+事業推進代表者  
国立大学法人長崎大学

学長 河野 茂



来春大学等卒業予定者を対象とした積極的な  
採用活動の実施について (協力依頼)

長崎県政及び「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の運営につきましては、日頃から格段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県における最重要課題は、いかに人口減少に歯止めをかけるかということでもあります。

若年者の転出超過による社会減を抑制するため、県とCOC+では平成31年度までに県内大学生の県内就職率10ポイント増(平成26年度比)を共通の目標に掲げて取り組んでまいりましたが、平成31年3月県内大学等卒業者の県内就職率は41.0%と、前年度と比べて1.7ポイントの減少という厳しい状況です。

この背景には、全国的な人材確保難による県外大手企業の地方大学への積極的な採用活動の影響もあり、県内企業にはこれまで以上に積極的な採用活動が求められております。

県とCOC+は県内企業の採用情報を掲載するサイト「Nなび」への学生登録の促進、県内企業と学生の交流機会の創出、長崎の歴史・文化・産業などを学ぶ「長崎地域学」の実施、県内企業と大学等の就職担当者との情報交換会を実施するなどし、学生の県内就職の意識醸成を図っております。

いよいよ3月1日からは、来春大学等卒業予定者を対象とした企業の広報活動が解禁となりますが、優秀な学生を採用するため、以下のような取組を積極的に進めていただくよう、各会員企業への周知について、よろしくお願い申し上げます。

#### ①採用情報の早期公開・充実

3月1日までには、各大学等の就職担当課への求人情報の提出と「Nなび」への採用情報の登録をお済ませください。

#### ②大学等への積極的な訪問活動

県内大学等の就職担当課を直接訪問し、自社の強みや求める人材像を具体的にお伝えください。学生に近い立場である大学関係者との信頼関係構築を進めていくことが重要です。

#### ③大学や学生から得られた情報の活用

大学等から得られた情報に基づき、学生に選ばれる雇用環境への改善、情報の出し方や働き方について各社独自の工夫を検討し、実践してください。